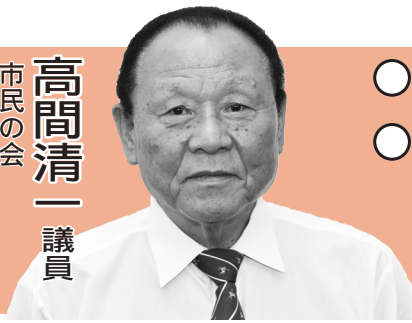


○道の駅建設における入札について
○勝山市職員の勤務状況について

市民の会
高間清一
議員



問 道の駅の建物工事の入札については、いくつかの疑問点がある。道の駅の内装工事の工事金額ならびに発注者について問う。

答 道の駅の建物の建築費用は、建築工事、電気工事、給排水工事を合わせて総額2億8480万1000円。また、内装工事分として物販エリアにおける内装及び物品を5210万5000円で勝山市観光まちづくり株式会社業務委託した。その中で14社と契約を締結している。

問 なぜ、市の建物である道の駅の発注をまちづくり会社が行ったのか。

答 勝山市観光まちづくり株式会社は、既に道の駅の指定管理予定者として決定しており、道の駅のコンセプトや将来を見越した効率的な運営の観点から、指定管理者自身が店内内装デザイン及び備品発注を入札した方がより効果であることから、当該業務を委託した。

問 勝山市職員で、現在心身の故障により通常の勤務ができない職員の数はどの程度か。また、職員が心身の故障に追い込まれている原因は何か。

答 勝山市職員で精神疾患により通常勤務ができない状態となっている職員の人数は、9月1日現在、正職員、再任用職員、会計年度任用職員すべてを含めた職員数444名のうち、3名で、その割合は約0.7%である。3名の休職者のうち、2名の職員は復帰に向けた慣らし勤務を実施している。

職員が精神疾患を発病する原因については、職員によってその要因となる状況や環境等が様々であり、仕事や家庭など様々な要因が精神疾患の発病に複雑に関連していると考えられる。

○消費税増税と新型コロナウイルスの影響による経済の低迷とその対策

市民の会
中山光平
議員



問 新型コロナウイルスへの対策は、ウイルスと経済の両面で行っていかねければならないことは周知の事実だが、実態は経済面の対策が少なく、多くの方が多大な不安の中で暮らしている。

厚生労働省の調べでは、2月から新型コロナウイルス感染拡大に関連する解雇と雇止めを集計しており、おおむね1カ月に1万人のペースで増えている。8月31日時点では見込みも含めて5万326人になったと発表した。この数字は事業所の報告に基づいていて、実数はさらに多いとみられる。民間がいつまで雇用を担保できるのか。全く樂觀できない。今後多くの失業者が出ることも予想される。

現時点で勝山市は失業者や倒産等は数字に表れていないが、全国のデータをみると今後のためにも準備をしておく必要性を感じる。

勝山市はこの状況をどうとらえているか。これまで国、県、市が事業や雇用の安定のために対策をとってきたが、今後の対策はどのように考えているか。

また、2008年のリーマンショック時のように緊急雇用創出事業を行うことで、民間だけでなく行政でも雇用を担保可能な仕組みが必要であると考えますが、市の見解を問う。

答 離職者数は新型コロナウイルス感染以前に推移と変わらない状況となっていることから、多くの市内事業所では、雇用調整助成金や持続化給付金などの国の支援や福井県、勝山市の支援策を活用し、経営を継続させる最大限の努力を行っている状況であると捉えている。今後も連携した市内既存事業所への支援施策が必要であると考えている。

緊急的な雇用対策のための事業として雇用創出基金と同様な基金が設立されれば活用していくが、現時点では既存事業所を支援し、事業を継続していくことにより、従業員の方々が安心して働き続けられることを優先すべきであると考えている。